

Title	2009 年度第 1 回ピア・スーパービジョン実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.19-3 : 28-29
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=2323
Rights	

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

総合研究所 News

聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター 2009年度第1回ピア・スーパービジョン 実施結果—アンケート集計結果の概要—

保健・福祉現場で働く人たちが主として集まった。本学福祉学科卒業生を中心とした組織のSWnet (Social Welfare Net または Seig Welfare Net) と総合研究所の共催である。

日時 2009年10月10日(土)13:30～16:45

場所 聖学院大学4号館4階会議室

【プログラム】

挨拶 牛津信忠 (聖学院大学人間福祉学部人間福祉学科長、スーパービジョン・センター委員長)

講演1 「スーパービジョンとはなにか」

柏木昭 (聖学院大学大学院人間福祉学研究所教授、スーパービジョン・センター顧問)

講演2 「スーパービジョンの魅力—スーパーバイザーの立場から—」

田村綾子 (社団法人日本精神保健福祉教会常任理事・研修センター長)

グループ・ディスカッション

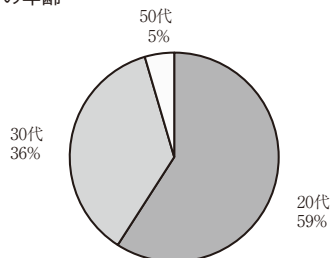
挨拶 中村磐男 (聖学院大学人間福祉学部長)

懇親会

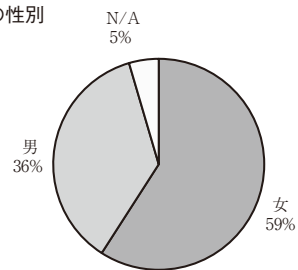
総合司会 室井美紀 (SWnet代表、人間福祉学科卒業生)

講演司会 助川征雄 (聖学院大学人間福祉学科教授)

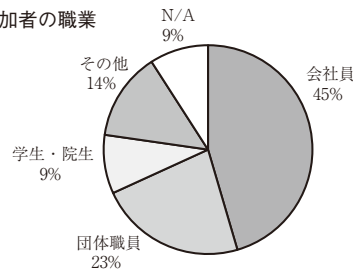
参加者の年齢



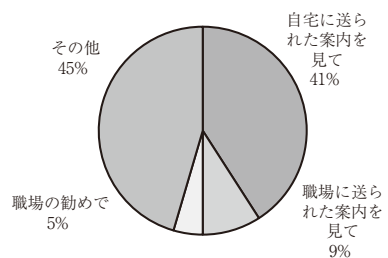
参加者の性別



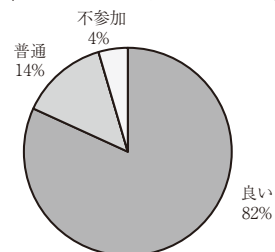
参加者の職業



参加の動機

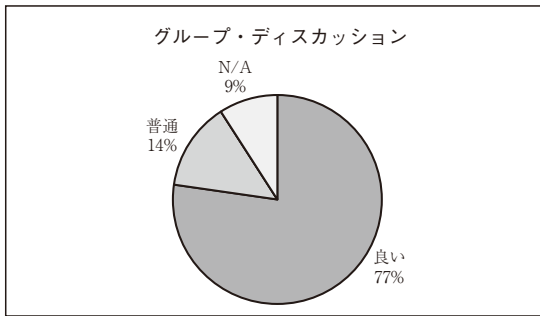
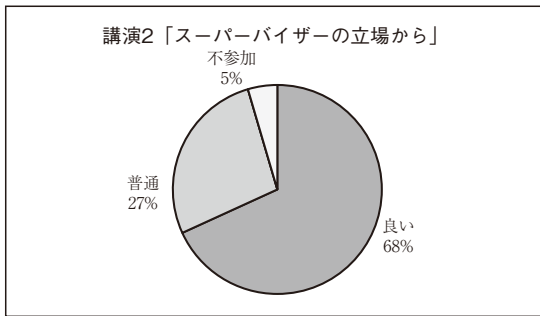


講演1 「スーパービジョンとはなにか」



6.自由意見

- ・ 田村講師のお話は自分自身の振り返りにつながって、明日からの仕事の力になります。ありがとうございました。
- ・ 講演を伺って日頃の仕事をあらためて考えさせられたり、SWとしての役割を整理していただ



いた感じです。ありがとうございました。

- ・日頃の膿をみんなで出すことができとても良かった。今日は人間関係の話しであったけれど、各々職場は異なるけれど、みんな同じように大変な思いを抱えていて、「みんなつらい、大変」と、共に分かち合うことができた。それだけでも貴重な時間ではないかと思う。ありがとうございました！いつもいろいろな人に会えてうれしいです。
- ・職場での人間関係がメインの話になりました。共感できる話し合いができたことが良く、こういった場に参加させていただいたことにより、心に「ゆとり」ができそうな気持ちになりました。
- ・ディスカッション・グループで貴重な意見を聞かせていただけて参考になりました。
- ・グループ・ディスカッションの時間が短いのが残念でした。C組が4人しかいなかったのはなぜでしょう。
- ・経験年数が一番少ない組だったからか、グループ・ディスカッションの話し始めに時間がかかった。「テーマは特にない」と司会の方がお話しされて、自由に話せると思いましたが、少し（ひとつでも）題材を与えていただけると助かりました。しかし、ためになったのは、次回このようなグループ・ディスカッションがあった

ときは、今回参加した動機や、先生方の講義を聞いて思ったこと等をまず聞けると良いかもしれないということです。今回参加して、先生のお話や参加者の方々の話を聞き、今自分が悩んでいるケースや自分自身のことを客観的に見ることができ、気持ちが楽になったのと同時に、来週から始まる仕事も新たな気持ちで取り組める思いです。貴重な体験をありがとうございます。

- ・様々な立場の人の意見が聞いて良かった。みな大変な思いをしながらがんばっているのを見て元気が出ました。
- ・他職種の人、年代の異なる人と出会い、話し合えることに感謝します。先生方、ご協力いただきありがとうございます。
- ・今は福祉の現場からは離れてしまったが、すぐ考えること・考えさせられることがあり、刺激になった。自分が何をしたかったのかなど、もう一度確かめることができた。また参加したい。
- ・離職中ということで、参加を迷いましたが、来て良かったと思います。去年は体調不良で参加できませんでしたが、参加すれば良かったと思っています。スタッフの皆様ありがとうございます。
- ・いろいろとお話しができたのが良かったと思います。また参加したいです。
- ・いろいろな現場の話を開けたので、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・お忙しい中、スタッフの皆様、先生方、どうもありがとうございました。またこういう機会があればぜひ参加したいです。ありがとうございました。

聖学院大学総合研究所 Newsletter

Vol.19-3,2009

2009年11月30日発行

発行人 大木 英夫

発行所 聖学院大学総合研究所

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

TEL : 048-725-5524 FAX : 048-781-0421

e-mail : research@seigakuin-univ.ac.jp

Homepage : <http://www.seigakuin-univ.ac.jp>